

am(be動詞)



I am Sato Taro.

I am happy.

I am from Tokyo.

Point

- ①英語で自分の名前を紹介したり、様子を伝えるときには、**I am** ～ を使います。短縮して、**I'm** ～ も使えます。
- ②「I」は「私は(が)」と言うことを表し、必ず大文字です。
- ③「am」は「be動詞」といいます。「be動詞」の基本の意味は「いる、ある」です。「be動詞」には「am, are, is」があります。「いる、ある」ことはわかっていることなので、「be動詞」の文は「どこに」・「どのように」いる、あるのか伝える文となります。
- ④「be動詞」の後の部分が「どこに」・「どのように」ということを伝える部分になります。

一般動詞



I love Emi.



I run.



You play the piano.



You sleep.

Point

- ① am, are, is (be動詞) 以外の動きを表す言葉(動詞)を「一般動詞」といいます。
- ② 一般動詞には、相手(他のもの)に何かするものと自分自身に対してなにかするものの2種類があります。
- ③語順は、必ず「主語+動詞」の順番になります。

1. () 内の語を正しく並べかえましょう。

(1) (Tom / I / am). 私はトムです。

(2) (tennis / I / like). 私はテニスが大好きです。

(3) (happy / are / you). あなたは幸せです。

(4) (the piano / play / you). あなたはピアノを弾きます。

2. 次の日本語を英語で表現しましょう。

(1) 私は元気 (fine) です。

(2) 私はリンゴが好きです。(※ apples を使しましょう)

(3) あなたは野球ファン (a baseball fan) です。

3. 今の自分について、am (be動詞) と一般動詞を使って1文ずつ英語で書いてみよう。

(1) am を使って

(2) 一般動詞を使って

am (be動詞)



I **am** Sato Taro.

I **am** happy.

I **am** from Tokyo.

Point

- ①英語で自分の名前を紹介したり、様子を伝えるときには、**I am** ～ を使います。短縮して、**I'm** ～ も使えます。
- ②「I」は「私は(が)」と言うことを表し、必ず大文字です。
- ③「am」は「be動詞」といいます。「be動詞」の基本の意味は「いる、ある」です。「be動詞」には「am, are, is」があります。「いる、ある」ことはわかっていることなので、「be動詞」の文は「どこに」・「どのように」いる、あるのか伝える文となります。
- ④「be動詞」の後の部分が「どこに」・「どのように」ということを伝える部分になります。

一般動詞



I **love** Emi.



You **play** the piano.



I **run**.



You **sleep**.

Point

- ① am, are, is (be動詞) 以外の動きを表す言葉(動詞)を「一般動詞」といいます。
- ② 一般動詞には、相手(他のもの)に何かするものと自分自身に対してなにかするものの2種類があります。
- ③ 語順は、必ず「主語+動詞」の順番になります。

1. () 内の語を正しく並べかえましょう。

(1) (Tom / I / am) . 私はトムです。

I am Tom.

(2) (tennis / I / like) . 私はテニスが大好きです。

I like tennis.

(3) (happy / are / you) . あなたは幸せです。

You are happy.

(4) (the piano / play / you) . あなたはピアノを弾きます。

You play the piano.

2. 次の日本語を英語で表現しましょう。

(1) 私は元気 (fine) です。

I am fine.

(2) 私はリンゴが好きです。(※ apples を使しましょう)

I like apples.

(3) あなたは野球ファン (a baseball fan) です。

I am a baseball fan.

3. 今の自分について、am (be動詞) と一般動詞を使って1文ずつ英語で書いてみよう。

(1) am を使って

(例) I am happy.

(2) 一般動詞を使って

(例) I like video games.